

神戸市受贈記念特別展

潮風 1955

川端謹次展

KAWABATA
KINJI

～ 水、光、大気のきらめきを描いた画家 ～

2000年 4月15日(土) ▶ 6月25日(日) 同時開催/収蔵作品展 I

神戸市立小磯記念美術館 (六甲アイランド内)
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.(078)857-5880

- ◆ 講演会：4月30日(日) 午後2時～3時30分
当館2階、延喜学芸室 (定員50名、当日整理券を配布)
「川端謹次の画業を語る」
講師・川端 徳孔氏、神戸市立博物館 主任・学芸員 阿 泰正氏

- ◆ 解説会：毎週土曜日 午後2時～2時30分 (学芸員によるスライド解説)
- ◆ 開館時間：午前10時～午後5時 (入館は4時30分まで)
- ◆ 休館日：月曜日
- ◆ 交通：JR住吉駅、阪神魚崎駅のりかえ六甲ライナー「アイランド北口」駅下車、西へ徒歩すぐ、六甲アイランド公園内 (公園の地下には市営駐車場(有料)があります。)
- ◆ 主催：神戸市、神戸市立小磯記念美術館、神戸新聞社
- ◆ 後援：サンテレビジョン、AM神戸

◆ 入館料

| 区分 | 当日 | 団体(30名以上) |
|--------|------|-----------|
| 一般 | 500円 | 350円 |
| 高校・大学生 | 350円 | 200円 |
| 小学・中学生 | 200円 | 100円 |

神戸市受贈記念特別展

— 水、光、大気のきらめきを描いた画家 —

川端 謹次展

KAWABATA KINJI

川端謹次（1909—1998）は、兵庫県米上郡に生まれ、東京美術学校で藤島武二の教室に学び、戦後、神戸で高等学校の教鞭をとる傍ら、絵画制作に励みました。

川端謹次は水辺に取材した風景画を得意とし、そこに水の深さを感じさせ、印象的に描きました。そして、神戸を始めとする日本各地の美しい風景それぞれの、独特の空間の雰囲気表現しました。そうした風景画は、私たちに変わり行く日本の風景を実感させ、また、かつての美しい風景を心によみがえらせます。

1999年7月、川端謹次の作品172点が、神戸市に寄贈されました。

本展はこれを記念し、贈られた作品をお披露するとともに、川端謹次の画業のほぼ全容を紹介いたします。画家の目で見た様々な風景をお楽しみ下さい。

講演会

4月30日(日) 午後2時～3時30分

当館2階、絵画学習室

(定員80名、当日整理券を配布)

「川端謹次の画業を語る」

講師・川端 皓孔氏

神戸市立博物館 主査・学芸員
岡 泰正氏

■ 解説会

毎週土曜日 午後2時～(約30分)

当館学芸員が、スライドによる作品解説を行います。

次回展覧会のご案内

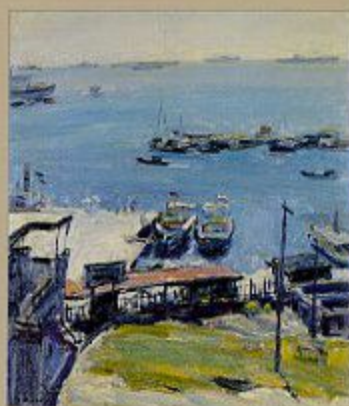
7月6日(木)～9月17日(日)

収蔵作品展Ⅱ

美術館のコレクション(油彩・素描・版画・資料)を幅広く紹介します。小規模な様々な技法を用いましたが、今回は戦後の一時閑しにしばしば試みられた墨彩による作品と、リトグラフ(石版画)をまとめて紹介します。夏休みは美術館で涼みませんか。



税関付近 1956



神戸港 1957



水辺める 1957



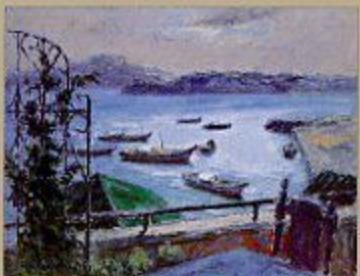
丘の上(桐子+原) 1958



雪の島立 1960



春の入船山 1981



朝風 1984